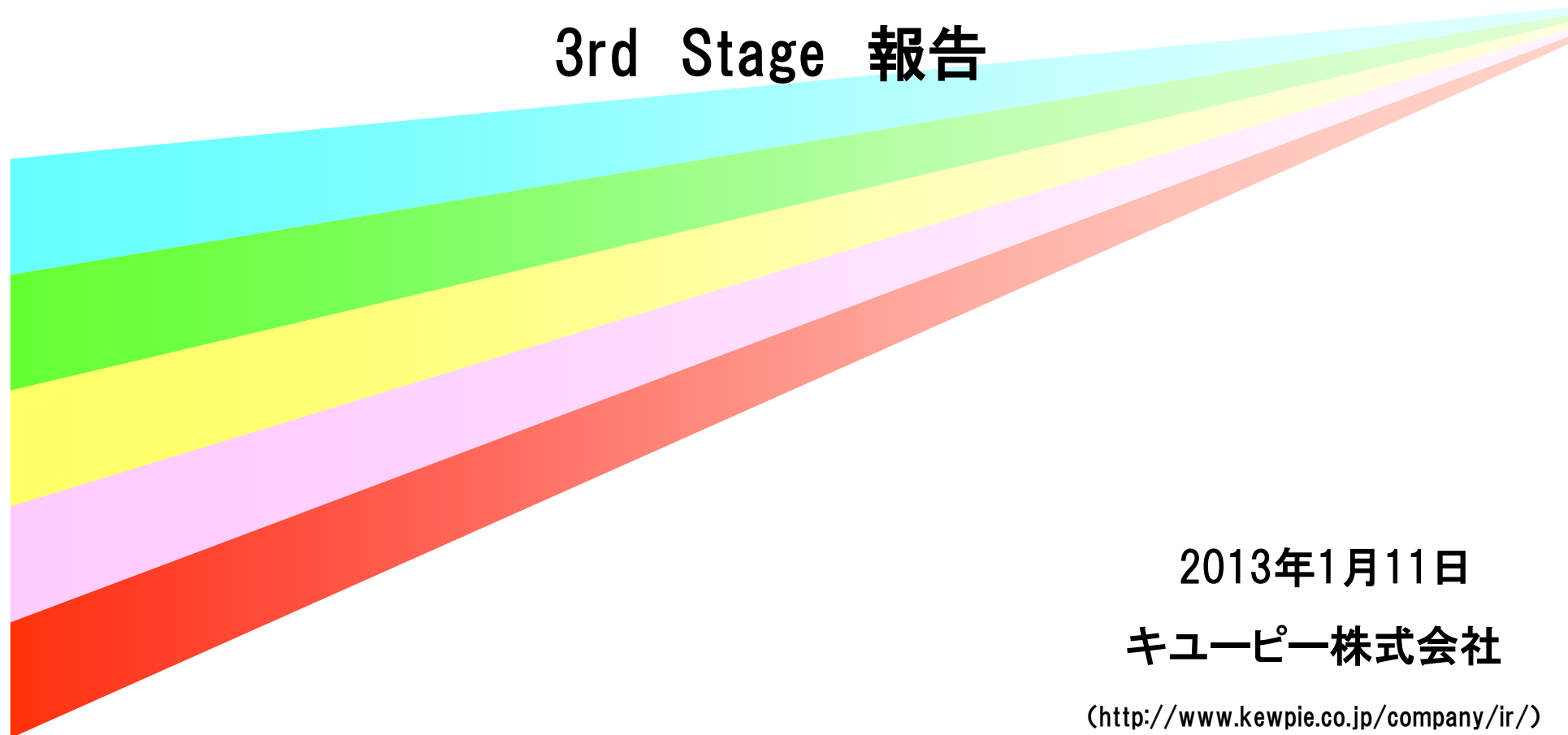


12.11期 決算説明会

事業基盤の強化と、新たな展開への挑戦

3rd Stage 報告

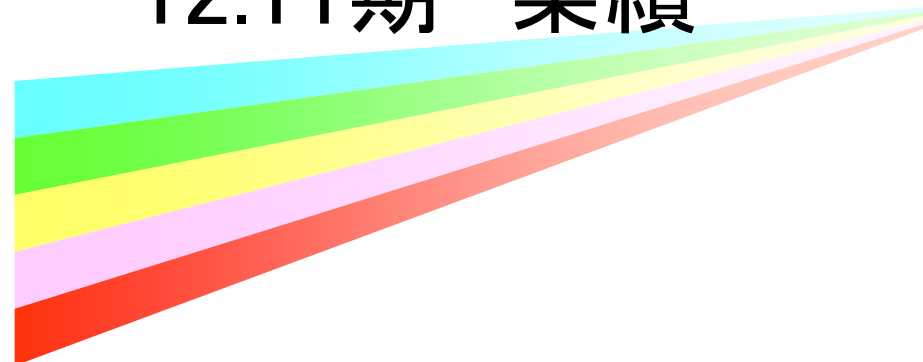


2013年1月11日

キューピー株式会社

(<http://www.kewpie.co.jp/company/ir/>)

12.11期 業績



12.11期 業績

売上高5,000億円を超え、過去最高の売上高・営業利益を更新

	11.11	12.11実績	前年比	前年差	計画差
売上高	4,864 億円	5,050 億円	103.8 %	+186 億円	+50 億円
食品	3,693	3,893	105.4	+200	+38
物流	1,171	1,157	98.8	△14	+12
営業利益	208 億円	234 億円	112.3 %	+26 億円	△1 億円
食品	226	253	112.4	+28	+1
物流	30	32	105.4	+2	0
調整額 (全社費用・消去)	△48	△52	—	△4	△3
経常利益	219 億円	245 億円	111.7 %	+26 億円	+5 億円
当期純利益	94 億円	123 億円	130.1 %	+28 億円	0 億円

※計画差は 12年7月公表計画との差

12.11期 事業別売上高の状況

サラダ・惣菜事業や調味料・加工食品事業の好調な展開により増収

	11.11	12.11実績	前年比	前年差
売上高	4,864億円	5,050億円	103.8%	+186億円
調味料・加工食品	1,735	1,814	104.5	+79
健康機能	185	184	99.7	0
タマゴ	857	856	99.8	△2
サラダ・惣菜	858	977	113.9	+119
共通	58	62	106.6	+4
物流システム	1,171	1,157	98.8	△14

■事業別の状況

調味料・加工食品	国内のドレッシングや、東アジアが順調に拡大
健康機能	ヒアルロン酸の販売不振により減収となったが、高齢者食は伸張
タマゴ	前年高騰した鶏卵相場の安定により減収となったが、中食向け商品は好調に推移
サラダ・惣菜	需要拡大に向けた施策によりパッケージサラダが大きく伸張、米飯や惣菜も拡大
物流システム	お取引先様の物流体制の見直しなどにより、既存取引が減少

12.11期 事業別営業利益の状況

増収効果やグループコスト改革、鶏卵相場の安定により増益

	11.11	12.11実績	前年比	前年差
営業利益	208億円	234億円	112.3%	+26億円
調味料・加工食品	144	150	104.1	+6
健康機能	15	8	54.4	△7
タマゴ	38	57	149.6	+19
サラダ・惣菜	22	31	138.1	+8
共通	7	8	124.9	+2
物流システム	30	32	105.4	+2
調整額(全社費用・消去)	△48	△52	—	△4

■事業別の状況

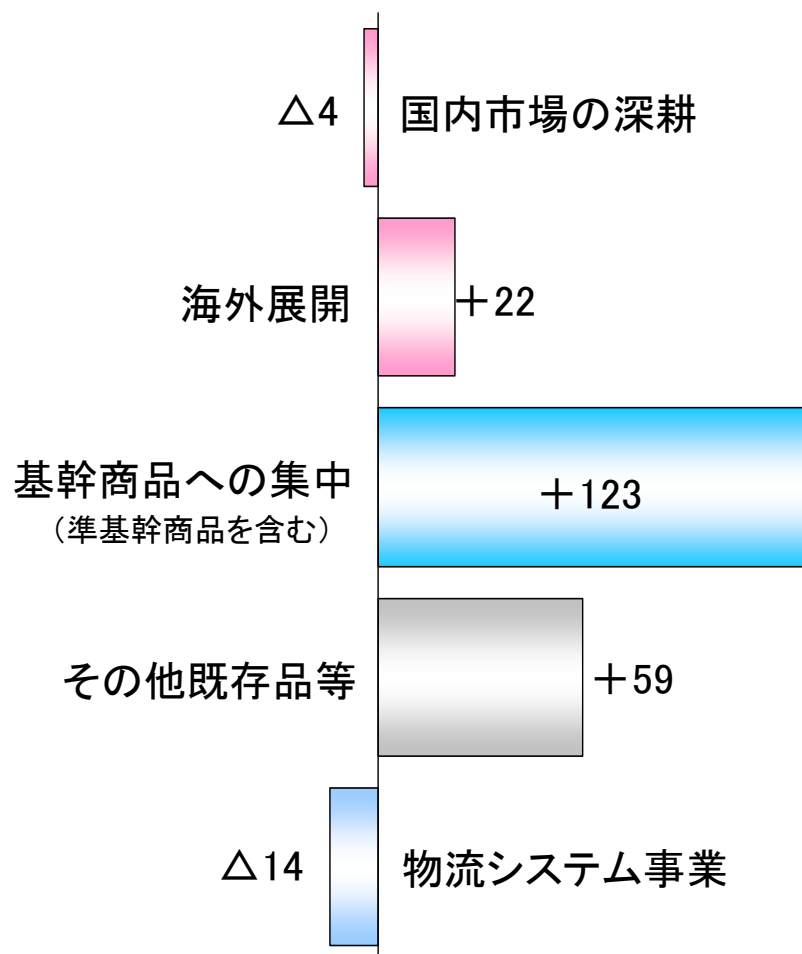
調味料・加工食品	原資材コストやマーケティング費用の増加を、増収効果が上回り増益
健康機能	ヒアルロン酸は減益となったが、コスト改善は進展
タマゴ	中食向け高付加価値商品の増収や、鶏卵相場の安定により増益
サラダ・惣菜	これまでの事業基盤強化の効果に加え、増収が寄与
物流システム	拠点の統廃合による固定費削減など保管・運送機能の合理化が進み増益

12.11期 売上高・営業利益の増減要因

売上高の増減要因

(億円)

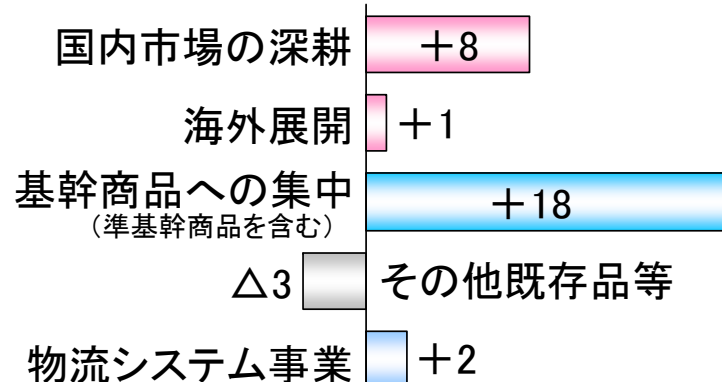
	11.11	12.11実績	差
売上高	4,864	5,050	+186



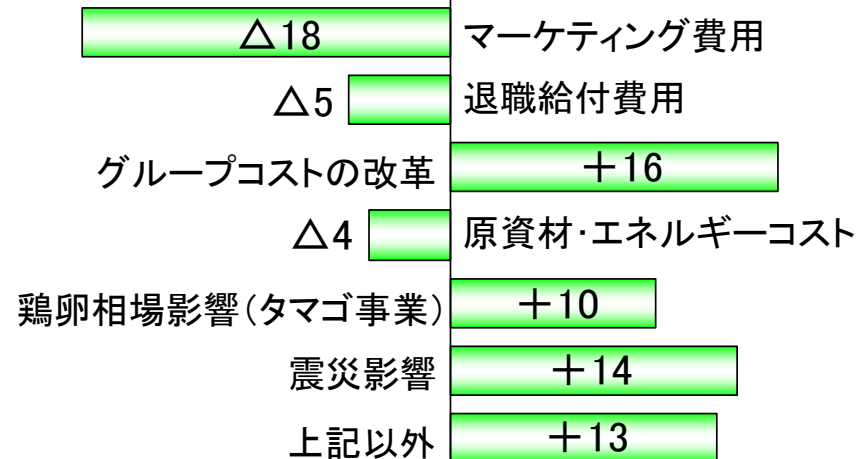
営業利益の増減要因

(億円)

	11.11	12.11実績	差
営業利益	208	234	+26



コストなどの影響



12.11期 営業外損益・特別損益等のポイント

(億円)

	11.11	12.11 実績	前年差
営業利益	208	234	+26
営業外損益	11	11	0
経常利益	219	245	+26
特別損益	△43	△11	+32
税引前利益	176	234	+57
法人税等 少数株主利益	82	111	+29
当期純利益	94	123	+28

<特別損益のポイント>

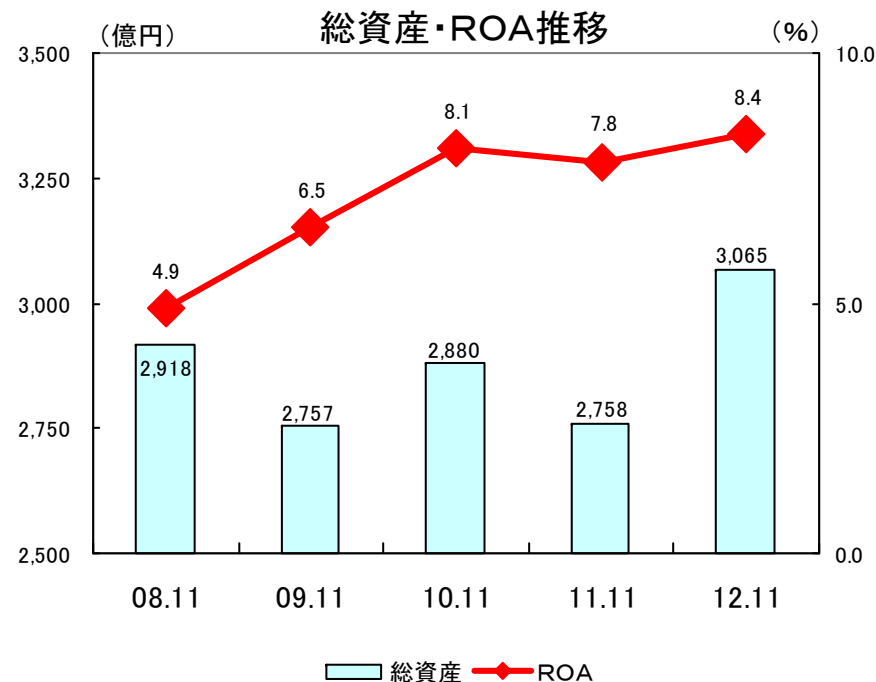
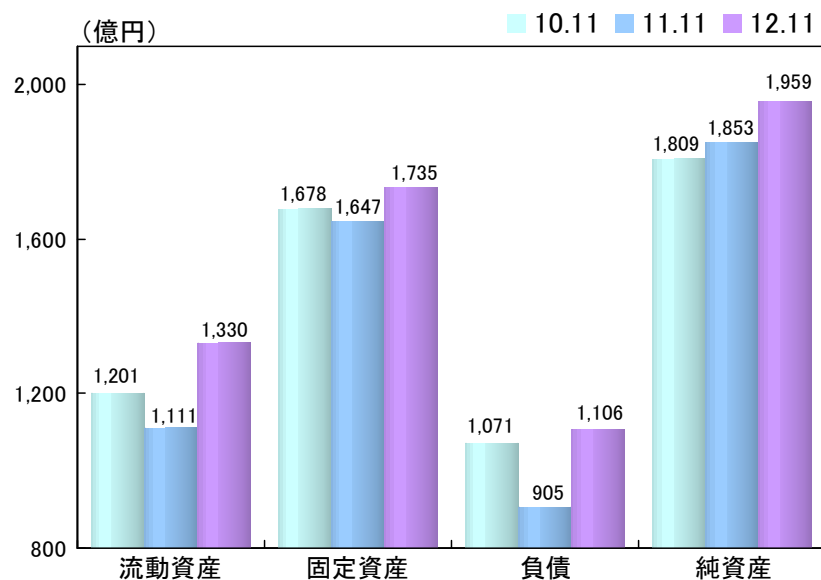
東日本大震災に伴う

昨年の損失の減少	+ 16
保険金、補償金の受取り	+ 10
昨年発生の関係会社出資金 評価損の減少	+ 5
子会社株式追加取得による 負ののれん発生益	+ 4
減損損失の増加	△ 9

<法人税等、少数株主利益のポイント>

利益増による法人税等の増加	+ 29
税率変更等による法人税等 調整額の減少	△ 12
(株)キューソー流通システム等 少数株主利益の増加	+ 12

12.11期 バランスシートの増減ポイント



11.11期との比較

流動資産は219億円増加

- ・ 現預金、有価証券の増加 + 188
- ・ 売掛債権の増加 + 18

有形・無形固定資産は86億円増加

- ・ 取得による増加 + 233
- ・ 減価償却による減少 △ 141

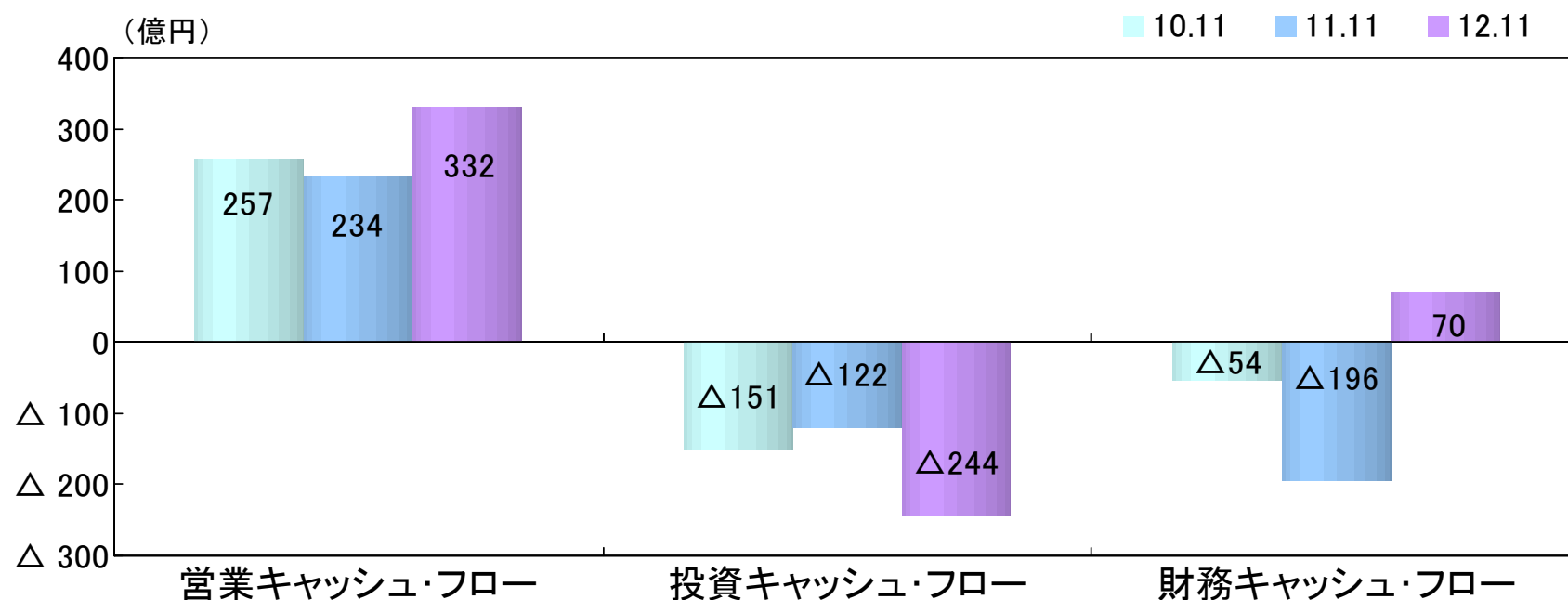
負債は201億円増加

- ・ 買掛債務の増加 + 25
- ・ 未払法人税等の増加 + 35
- ・ 社債の増加 + 100

純資産は106億円増加

- ・ 利益剰余金の増加 + 95
- ・ 有価証券評価差額金の増加 + 14

12.11期 キャッシュ・フローの増減ポイント



11.11期との比較

営業キャッシュ・フロー

- ・ 当期純利益の増加 + 57
- ・ 法人税等支払額の減少 + 34

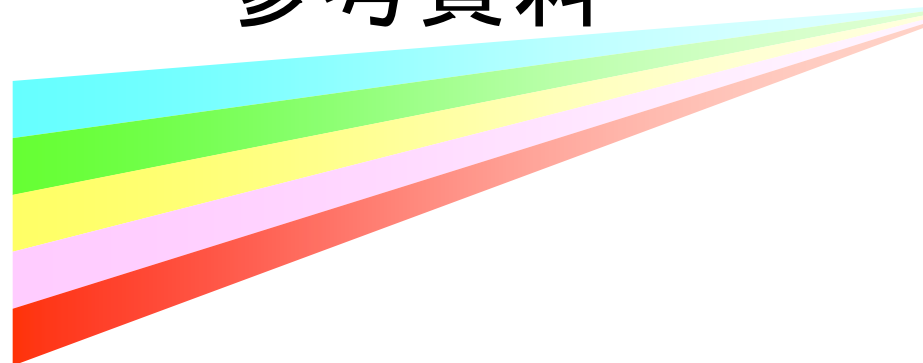
投資キャッシュ・フロー

- ・ 有形固定資産取得の増加 Δ 74
- ・ 子会社株式の取得 Δ 19
- ・ 3ヵ月超定期預金への預入 Δ 30

財務キャッシュ・フロー

- ・ 借入金返済額の減少 + 146
- ・ および借入金の増加 + 99
- ・ 社債発行による増加 + 21
- ・ 自己株式取得の減少 + 21


参考資料



参考) 業績推移

	(億円)			
	09.11	10.11	11.11	12.11
調味料・加工食品事業	1,757	1,717	1,735	1,814
	138	166	144	150
健康機能事業	173	178	185	184
	6	14	15	8
タマゴ事業	795	831	857	856
	36	39	38	57
サラダ・惣菜事業	807	781	858	977
	13	16	22	31
共通	71	67	58	62
	4	5	7	8
物流システム事業	920	1,137	1,171	1,157
	22	28	30	32
調整額(全社費用・消去)	△ 43	△ 46	△ 48	△ 52
合計	4,522	4,710	4,864	5,050
	177	221	208	234

注) 上段数値は売上高、下段数値は営業利益



参考) 主要経費など

	(億円)			
	09.11	10.11	11.11	12.11
販売促進費	176	182	182	195
広告宣伝費	77	78	74	79
物流費	251	258	270	289
労務費	217	228	236	243
研究開発費	32	32	32	34
設備投資	119	126	134	209
減価償却費	130	131	136	141



注意事項

この説明会資料に掲載されている、キューピー株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得られたキューピー株式会社の経営者の判断に基づいており、過度の信用を置かれませぬようお願いいたします。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、この説明会資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

《お問い合わせ先》

キューピー株式会社

総務部長 長谷部敏朗

TEL 03-3486-3331 FAX 03-3498-1806

e-mail toshiro_hasebe@kewpie.co.jp